

大学院研究科長 様
大学院「認定遺伝カウンセラー」養成課程責任者 様

日本遺伝カウンセリング学会
日本人類遺伝学会

21 世紀のわが国の遺伝医療を支えるマンパワーとして遺伝カウンセラーの重要性が指摘されています。日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会では遺伝カウンセラーの養成と認定制度のあり方を検討してまいりましたが、平成 17 年度より認定試験を実施することになりました。大学院修士レベルの「認定遺伝カウンセラー」養成課程(以下、養成課程という)の修了者は認定試験の受験資格を有しますが、養成課程はその教育内容が認定遺伝カウンセラー制度に合致したものであることが条件になりますので、あらかじめ認定遺伝カウンセラー制度委員会(以下、制度委員会という)の認定を受ける必要があります。同封された「認定遺伝カウンセラー養成課程 認定審査申請書」に必要事項を記入して平成 16 年 12 月末日までに事務局に送付してください。制度委員会で審査の上、平成 17 年 1 月末日までに審査結果をお知らせします。養成課程の認定を受けた課程の修了者は平成 17 年度に実施予定の認定試験(筆記試験と面接試験)を受験することが可能で、合格者は必要な手続きを終えた後、「認定遺伝カウンセラー」の資格を日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会の両理事長の連名で授与されます。

なお、申請手続きの内容で不明な点は下記の事務局までお問い合わせください。

日本遺伝カウンセリング学会理事長 古山順一
日本人類遺伝学会理事長 新川詔夫

認定遺伝カウンセラー制度委員会:

千代豪昭(委員長)、安藤広子、黒澤健司、高田史男、玉井真理子、
田村智英子、月野隆一、富和清隆、福嶋義光、山中美智子

認定遺伝カウンセラー制度委員会事務局
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
遺伝カウンセリングコース
Tel:03-5978-5742, Fax:03-5978-5131
E-mail: hchiyo@cc.ocha.ac.jp
(事務担当:菊池珠子)

大学院「認定遺伝カウンセラー」養成課程 認定審査申請書

平成 年 月 日

認定遺伝カウンセラー制度委員会 殿

本養成課程は認定遺伝カウンセラーの養成を目的に本学大学院に設置された専門の課程です。添付書類に記載しましたように、本養成課程は教育内容が認定遺伝カウンセラー制度委員会による養成課程としての機能を十分にそなえていると考えますので、必要書類を添えて申請します。

(フリガナ) 大学院研究科・ 専攻・養成課程			
同上所在地	〒	電話：	FAX：
(フリガナ) 研究科長 職名・氏名	職名・氏名		印
(フリガナ) 養成課程の 責任者名	所属・職名・氏名		印
登録番号*	登録年月日*		
登録期限*	自	至	

注意事項

- 1) 黒インク又は黒のボールペンを使用し、楷書で記入して下さい。
- 2) *の欄は記入しないで下さい。

添付書類（十分な教育が可能かどうかを判断するために必要な情報となりますので必ず添付してください。）

- ・養成課程状況報告書（1）～（3）
- ・大学院研究科長の証明書

様式 gc 1-2-1

専門コース状況報告書*（１）（必要事項が記載されていれば別紙記載可）

専門コースの名称：

専門コースの代表者名（所属および職名）：

コースの概要（設置目的、設置年月日、大学におけるコースの位置づけ、カリキュラムの特徴、教員組織の概要、修了単位認定方法など）

学生の定員と選抜入試の概要

* 報告時点において該当しない項目については今後の方針をご記入下さい。

* 入試概要・入試要項・入試説明会資料など、コースに関して公開された資料がありましたら添えてください。

様式 gc 1-2-3-1

専門コース状況報告書(3)

1. 標準カリキュラムと養成課程カリキュラムの対照表

標準カリキュラム(日本遺伝カウンセリング学会誌、24(2)63-78, 2004 より)						養成課程カリキュラム			
到達目標 カ ゴ リ	科 目	到達目標該当箇所	単 位	時 間	方 法	科 目	単 位	時 間 数	添付資料 番 号
I	基礎人類遺伝学(1)	1. 1) 遺伝学史 2) 細胞遺伝学 3) 分子遺伝学 4) メンデル遺伝学 5) 非メンデル遺伝 6) 集団遺伝学と遺伝疫学, 家系分析 7) 遺伝生化学・遺伝薬理学 8) 生殖・発生遺伝学 9) 体細胞遺伝学 10) 腫瘍遺伝学 11) 免疫遺伝学	4	60	講義				
	基礎人類遺伝学(2)	染色体・DNA 検出と正常・異常の識別, 家系図作製・遺伝確率	2	60	演習				
	臨床遺伝学	1. 12) 遺伝医学・遺伝医療	2	45	講義 (1) 演習 (1)				
	遺伝サービス情報学	遺伝関連情報・情報検索方法	1	30	演習				
	遺伝医療と社会	4. 遺伝医療と社会	1	15	講義				
	遺伝医療と倫理	3. 遺伝医療と倫理	2	45	講義 (1) 演習 (1)				

様式 gc 1-2-3-3

* 記載上の注意

- 1) カリキュラムの詳細については、専門コース独自の工夫があるべきと考えていますが、準備委員会案（日本遺伝カウンセリング学会誌、24（2）63-78，2004）の到達目標（論文添付資料1：[2]）に合致したものであることがわかるように記載して下さい。
- 2) 大学院修了要件（単位数など）や実習・演習の扱いについては専門コース所属の大学院の規定に従ってかまいませんが、到達目標が達成されていることが条件になります。
- 3) 学年進行表・時間割・シラバス等があれば添付してください。

様式 gc 1-3-1

認定遺伝カウンセラー指導者認定申請書

認定遺伝カウンセラー制度委員会 殿

私は認定遺伝カウンセラー規約第 18 条に記載されている指導者の要件を満たしていると考えますので、認定遺伝カウンセラー指導者の認定を受けたく、必要書類を添えて申請致します。

申請日 西暦 年 月 日

* 受付番号		* 受付年月日	西暦 年 月 日
* 認定期間	西暦 年 月 日まで		
申請者氏名	姓	名	印
	ふりがな 漢字 ローマ字		
生年月日	西暦 年 月 日	性別	男・女
勤務施設 / 所属 名 / 職名			
勤務施設連絡先	〒 Tel. Fax. E-mail:		
自宅連絡先	〒 Tel. Fax. E-mail:		
指導者認定要件	5 年以上の認定 遺伝カウンセラー 歴または専門医 指導医歴	認定資格(または指導医資格)取得年月日 / 番号 西暦 年 月 日 認定番号 第 号	
	遺伝カウンセリン グの実践	別紙に記載	
	学術活動	別紙に記載	

様式 gc 1-1-2

証 明 書

本学大学院研究科では、認定遺伝カウンセラー制度に則った養成課程を設置していることを証明します。

平成 年 月 日

大学院名

所在地

研究科長職名

研究科長氏名

公印